

平成 23 年 6 月 16 日
外航オーナーズ協会

外航オーナーズ協会 第 53 回定時総会について

本日（6 月 16 日）外航オーナーズ協会は、第 53 回定時総会を開催し、事業報告等を原案通り承認するとともに、平成 23 年度役員を以下の通り選任した。

なお、乾 新悟会長（乾汽船 社長）の挨拶文は別添の通りである。

会 長	乾	新悟（乾	汽	船（株）代表取締役社長）（再任）			
副会長	松永	武士*（八	馬	汽	船（株）代表取締役社長）（新任）		
副会長	長谷川	陽一（太	洋	日	本	汽	船（株）代表取締役社長）（再任）
副会長	本馬	修（玉	井	商	船（株）代表取締役社長）（再任）		
監 事	葛西	弘樹（商船三井オーシャンエキスパート（株）代表取締役社長）（再任）					
監 事	伊藤	淳（東	海	商	船（株）代表取締役社長）（再任）		

*6 月 22 日就任予定

以 上

【本件に関するお問合せ先】

外航オーナーズ協会 事務局
（社団法人 日本船主協会 企画部）

石川・本多

TEL : 03-3264-7174 FAX : 03-5226-9166

平成 23 年 6 月 16 日

外航オーナーズ協会

外航オーナーズ協会 第 53 回定時総会における乾会長挨拶

第 53 回定時総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

引き続き会長を仰せつかり、身の引き締まる思いですが、皆様のご協力を得ながら努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

さて、世界の景気は緩やかながらも回復を遂げつつありますが、わが国経済は、デフレ・円高の長期化に加えまして、東日本大震災および原発事故の影響等もあり、先行き不透明な状況にあります。外航海運におきましても、不安定な海運市況や燃料油価格の高騰などから、事業を取巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況下、当協会は、日本船主協会とも連携し、東日本大震災および原発事故に関し、復興に向けての物資や資源の安定的な輸送に全力をあげるとともに、風評被害対策について政府等に働きかけて参る所存です。

わが国外航海運の国際競争力の一層の強化、即ち税制のイコールフットィングにつきましても、諸外国の海運企業と伍していくため、また、当協会会員各社が引き続き多種多様な顧客ニーズに良質且つきめ細やかなサービスを提供していくため、その実現に向け、強く働きかけて参ります。昨年度は、我々外航オーナーの経営にとって必要不可欠な制度であります、船舶特償、圧縮記帳が期限の到来した租税特別措置は原則撤廃するとの政府基本方針の中にあって概ね要望通りの内容で維持されました。本年度においては、昨年「24 年度以降の検討課題」と整理されました、トン数標準税制について、世界標準の制度とすべく、引き続きその適用範囲の拡大を求めるとともに、今年度末に期限切れを迎えます、船舶に係る固定資産税、

登録免許税をはじめとする海運税制の維持・改善など、必要な諸施策の実現に日本船主協会とともに取り組んでいく所存でございます。

ソマリア沖・アデン湾における海賊問題につきましては、その発生海域が同湾東方沖、更にはアラビア海、インド近海にまで拡大しているということでございます。当協会は、引き続き日本船主協会とともに同海域を航行する船舶の安全が確保されるよう、より効果的な活動の実施に向け、関係当局に強く働きかけていく必要があると考えております。

加えまして、地球温暖化防止対策としての GHG 排出削減対策や、優秀な日本人海技者および外国人船員の確保・育成への取組みも大きな課題であります。また、日本籍船に乗り組む外国海技資格受有者に対する承認制度につきましては、昨年末の国土交通省成長戦略船員資格検討会の報告書に基づき、一定の改善が図られることとなりましたが、更なる簡素化・合理化の実現に向け、引き続き日本船主協会を通じて、働きかけに努めて参ります。

そのほか当協会は、今後の経済動向、海運市況の見通しなど、我々外航オーナーに係わる情報の収集および周知に努め、また、会員の一層の増強を図りつつ、会員間の意見交換、親睦の場として活動して参りたく存じます。皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますがご挨拶と致します。

以 上